

大樹

香川県立保健医療大学同窓会会報

みなさま
お変わりなく
お元気ですか

第16号

令和元年12月吉日
発行

香川県立保健医療大学同窓会翠丘会

すいきゅうかい

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原 281 番地 1
TEL (087) 870-1212 (代)



地域共生社会に向けて私たちのなすべき事

翠丘会会長
松原 文子 (高松市社会福祉協議会)

大樹の会員の皆さまへ
皆様、お健やかに過ごしてでしょうか。

日頃より本同窓会発展の為にご理解とご協力を頂き、誠に有難うございます。

1年に1度の会報誌「大樹」を通じて皆様方に親しく本同窓会の様子を発信出来ますことを嬉しく存じます。本同窓会は平成16年4月に香川県立保健医療大学の開校を機に、その前身の香川県立医療短期大学、ならびに旧県立看護専門学校、県臨床検査専門学校の卒業生・修了生を統合して設立いたしまして、15年を迎えました。現在の会員数は、3,475名(10月25日現在)でございましてこれまで、保健・医療・福祉関連だけでなく地域での社会貢献活動など様々な分野で多くの優秀な医療・看護人材を輩出しております。

本同窓会の主な事業は、大学図書館の専門図書購入・国際交流・大学院保健医療学研究科博士後期課程設置記念フォーラムへの支援(新規)、大学祭(橄欖祭)参加、オープンキャンパス、保健師・助産師・臨床検査技師交流会、修士課程・博士課程の修了生着アカデミックガウン準備(新規)など、在校生支援に関しても力を入れていると共に、香川県立保健医療大学ホームページでの「同窓会コーナー」の充実も図っております。また、今年度から各クラス同窓会開催助成金支給事業を始めました。

さて、我が国の平均寿命は、平成30年度で女性87.32歳、男性81.25歳と過去最高を更新し世界のトップクラスであり、医療の高度化等の社会の変化がその背景にあります。それに伴い我が国の医療費は年々増加し、平成28年度は42兆1.381億円にのぼり、国民一人当たりの医療費は33万2,000円となっています。その背景には、少子高齢化、経

済、環境、ライフスタイルの変化、日常の暮らしの多様化、情報化等といった社会の著しい変化が影響していると考えられます。小児期では生活習慣病罹患児の増加や体力の低下等の問題、成人期では悪性新生物、心疾患、脳血管疾患といった生活習慣病患者の増加などの問題があります。老年期では、高齢化がさらに進み2025年には高齢化が30%を超え、1人の高齢者を1.8人で支える社会構造となり、また、認知症患者は700万人を超えると予測されており、それ以外にも様々な健康問題があげられます。

そこで、ますます複合化・重層化していく課題を包括的継続的支援していく「生活者の視点に立った」地域共生社会の実現、「医療完結型」から「地域完結型」への転換が急がれています。私達もその担い手の一人としてその役割をそれぞれの立場で果たして参りましょう。

最後になりますが、本会が、多くの卒業生の歩んだ歴史と同窓生の友人・仲間の繋がりを大切にされた様々な活動を通じて、会員相互の交流・親睦や生涯学習が深まるよう努めてまいりますので、今後ともご指導ご協力を宜しくお願いいたします。

来年は干支十二支の一番目の子年、スタートの年にあたります。共に良き年にしてまいりましょう。



仕事と子育て

保健医療学部看護学科1回生
独立行政法人労働者健康安全
機構香川労災病院

池下 真央

私は香川県立保健医療大学の1回生です。

大学生活の4年間で香川県で過ごすのだと思っていましたが、結婚を機に、この香川の地で、出産・子育てもしています。

今は、助産師として香川労災病院に勤務しています。交代勤務をしながら、家事と育児で毎日が嵐のように過ぎ去っています。交代勤務をしながら、育児が出来るのか？仕事をセーブした方が子どものためにも良いのではないかと悩みや不安もありましたが、職場や家族の協力もあり仕事を続けることができています。休日出勤や夜勤の前に子ども達が泣き、後ろめたさを感じながら仕事に行くことも多々ありました。本当にこのままで良いのか？子どもに無理をさせているのでは

ないかとワーキングママは日々思いながら過ごされているのではないのでしょうか。

我が家は、子どもがある程度大きくなると、どのような仕事をしているのかを理解してくれて、「今日は赤ちゃん産まれた？女の子？男の子？」と聞いてくるようになりました。出産や育児の経験は、助産師の仕事にも生かされています。

妊娠期から産褥期までの母子のケアはもちろんですが、小学生への「いのちの先生」としての講義も担当し、いのちの大切さや、家族や周りの人から愛されて産まれて来たことを伝えています。小学生の反応はとても可愛らしく、時に鋭いです。

将来、この子ども達の中から助産師を目指してくれる子が居てくれたら嬉しいなと思いながら、日々過ごしています。



香川県立保健医療大学での学びを通して

保健医療学部
臨床検査学科7回生
香川県立保健医療大学助教

森西 起也

平成29年から香川県立保健医療大学に着任しました森西起也と申します。これまで香川県立保健医療大学で4年間、大学院修士課程（現在の博士前期課程）で2年間学び、そして現在博士後期課程3年目を修了予定です。今までのことについて振り返るこのような機会をいただきましたので、記していきたいと思います。

私は、香川県立保健医療大学を卒業してすぐに香川県立保健医療大学大学院修士課程に進学し、卒業後は、四国細胞病理センターに就職していました。職場は、私が大学院時代から専攻していた病理分野であり、そこで検体の処理方法や具体的な手技、病理医とのやり取り等、多くの経験を積むことができました。その後、現在の香川県立保健医療大学へ助教として転職し、現在は大学院博士後期課程へ通っています。

香川県立保健医療大学に着任した際には、私が着任した年に入学した臨床検査学科の新入生の副担任にな

りました。数年前は私も同じ学生でもあり、その経験を活かしてアドバイスするよう努めています。また、実習や講義においても、これまでの大学や職場で学んできたことを伝えていくように心がけています。

大学院では、臨床検査技師として大学院教育を受けることで、以下のことを身につけることができたと思っています。1つ目は、研究の基礎を身につけることができたことです。研究の組み立て方や進め方、論文の検索の仕方等、担当の教員と何度も話し合いながら研鑽していくことができました。2つ目は、学会発表を行う上でも、スライドの作成方法や発表の仕方等も学ぶことができました。以上のことを大学院でしっかりと身につけ、また今後自分が同じように指導する立場になったときにもサポートできる力がついたと思います。卒業生の方で現在、大学院進学を考えている人は、職場で疑問に思ったこと等を大学院で研究するチャンスでもあるため、挑戦してみてもいいのではないでしょうか。



大学生活を通して感じていること

保健医療学部看護学科1年
多田羅 絢子

私は人と関わるのが好きで、特に人の笑顔や元気な姿を見られることで自分自身が元気になれることが今までにたくさんあり、将来は人と関わり、人の役に立つ職業につきたいと考えていました。そんな中で高校の先生から看護体験を進められ、看護師は一人一人の患者さんと向き合い、健康について考えられる素敵な仕事だと思い看護師を目指すことにしました。

香川県立保健医療大学は看護において必要な技術や豊富な知識を丁寧に教えてくれることはもちろんですが、自分にとって「看護」とはどういうものなのかを考えさせてくれる場所でもあります。ただこの疾患にはこの看護ケアをするのではなく、患者さんの性格や状態、そして意思の尊重なども取り入れながら行う「より良い看護」について考える力を一年生のころから考えさせてくれる機会や授業をたくさん用意してくれてい

ます。それは自分自身の価値観や考え方も深めさせてくれるものと日々を通して実感しています。そして自分の意見を仲間と共有してさらに考えを深めたり、分からないことは教え合ったり、一緒に悩んで解決したりして毎日高め合っています。先生との距離も近く、分からないことや疑問に思ったことに対して真剣に、そして熱心に取り組んでくれます。

そして本学は勉強しやすい環境が整っています。図書室は専門性のある医療本がたくさんそろっているし、個人学習室やグループ学習室もあります。大学の周りは自然に囲まれており、すごく穏やかな環境で勉強に最適です。

必修科目で覚えなくてはいけないことがたくさん増えてきて、冬には実習が始まるので苦しくなる時もあると思いますが、仲間や先生の手を借りながら乗り越えていきたいです。自分は一人で頑張っているのじゃないのだと授業や実習を通して本学は教えてくれます。そしてこの4年間で自分にとっての「看護」をよりよいものにしていくため日々精進していきたいです。



臨床検査技師へと少しずつ

保健医療学部
臨床検査学科1年
東小路 拓真

気が付けば入学から8か月が経ちました。今まで住んでいた京都を離れ、初めての一人暮らしで慣れないことも多いですが、臨床検査技師として働く将来の自分をイメージしながら、日々勉学に励んでいます。

私は、治療を行うためには病気を診断する必要があることに気づき、どのようにして診断するのかと興味を持ちました。そして、病気を明らかにして診断をつけるためには、検査が大きな役割を担っていることを知り、臨床検査学を専攻することに決めました。

大学生活では、教養科目も専門的な科目も、多くの先生方に熱心に指導していただいています。臨床検査学科は20名と少数であるため一体感があり、同じ目標を持つ友人とともに協力して学ぶことができ、心強く感じます。また、同学年だけでなく先輩とのつながりも学校生活を送る上で支えとなっています。課題や勉強の仕方、生活面に関しても相談することができます。

授業以外では、健康サポーターの活動に参加しています。この活動は臨床検査学科20名全員が参加しているものです。夏には地域住民の方々を招いた健康広場というイベントで、事前に検査機器の扱い方を学び、実際にいらっしゃった方々に各種測定を行いました。また、文化祭では各グループに分かれて健康に関する展示を行い、訪れた方々と一緒に体操なども行いました。身体に関して説明する立場になったことで、適切な言葉で相手に伝えることの難しさを感じました。

将来的には、臨床検査学科で学んだ技術や専門知識を活かして、日々複雑化しながら発展していく医療の一端を担う人材になりたいと考えています。そのためにも大学院に進学することも視野に入れています。

後期授業も半ばを過ぎ、専門的な科目が増えたことで、異なる講義での内容で得た知識がつながっていくのを感じるようになりました。これからますます専門性が高くなり、壁に当たることもあるかと思いますが、心強い環境で仲間と共に乗り越えていきたいです。

「博士後期課程開設 記念フォーラム」について

香川県立保健医療大学 学長 井伊 久美子

令和元年9月27日に、香川県立保健医療大学博士課程開設記念フォーラム「地域とともにかがやく！」を開催し、多くの方々にご参加いただきました。

博士後期課程を設置し、平成29年4月から臨床検査学専攻を、本年4月からは看護学専攻の教育を開始しました。大学として成長し教育の拡充を重ねることができたことは、同窓会はじめ多くの皆様のご支援の賜物です。心から感謝申し上げます。

記念フォーラムは、地域に開かれ、地域の皆様とともに歩むことを共有する場として企画し、当日は記念講演として「女性の品格」の著者で昭和女子大学理事長・総長の坂東真理子先生をお迎えし、「自ら提案、決断し、やり遂げる人に！」と力強いエールをいただきました。

本学が地域の保健医療専門職の拠点として機能し、これからのニーズに応じていけるよう、そして、皆様に活用していただけるよう研鑽を重ねたいと考えております。

今後とも、ご支援ご指導いただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



大学院紹介

大学院博士後期課程紹介

香川県立保健医療大学 副学長(保健医療学研究科長)
國方 弘子

平成30年11月6日付で、本学大学院保健医療学研究科看護学専攻博士後期課程が文部科学省により認可され、平成31年4月から看護学専攻（博士前期課程）及び看護学専攻（博士後期課程）に改組されました。

博士後期課程は、実践科学としての看護学に対する深い学識をもつ自律した研究者として、看護実践に役立つモデルを開発し、研究成果を地域に還元することで、地域の看護実践の向上と変革に貢献できる教育者又は看護実践の組織的指導者を育成します。

教育課程の「実践開発看護学特別演習」では、学生と複数の教員によりピアレビューと発展的な討論を行い、相互に学び合い、高度な創造・開発能力を涵養します。この点は、本大学院の特徴の一つです。

本学修士生をはじめ多くの方が自身の自己実現のために、本学大学院を活用していただきたいと心から期待しております。

同窓会総会報告および記念講演会

竹内 美由紀

令和元年5月18日土曜日、香川県立保健医療大学講義棟3階大講義室において、第9回総会および記念講演会を開催しました。総会出席者71名、記念講演会には県内外から106名の参加をいただきました。総会では、入会状況と平成30年度の事業報告・会計報告・監査報告があり、その後、令和元年度の事業計画案と予算案が審議され、議案はすべて承認されました。大学院後期博士課程も開設され、同窓会からは、図書館へ専門書籍の寄付や、大学院生が修了式で着用するアカデミックガウンを準備しています。皆様から、今後も学生の学習環境の充実に協力することの賛同を得ました。

また、総会終了後の記念講演会では、国立成育医療研究センター「もみじの家」ハウスマネージャー内多勝康先生(元NHKアナウンサー)をお招きし、小児在宅の現状と、重い病気を持つ子どもと家族がその人らしく生きることができる社会を創ることを目指し、関係者と共に考える場となりました。



記念講演会

演題：医療的ケアがあっても安心して暮らしたい
～もみじの家が目指す社会～

講師：国立成育医療研究センター「もみじの家」
医療型短期入所施設ハウスマネージャー
内多 勝康先生

学祭報告

翠丘会は、令和元年10月19日土曜日に開催されました大学祭(橄欖祭)に出展しました。今年度も同窓会企画として「健康戦隊!! ケンサ&カンゴレンジャー」を同窓会会員である県立白鳥病院看護師・助産師の方々と県内施設の臨床検査技師の方々の合同で出展いたしました。さらに共同出展として健康食品管理士会香川県部会の方々も参加いただきました。体験ブースを設け、クイズラリーを通して、小さいお子様も含め161名の来場者の皆様に看護師、助産師、臨床検査技師について理解いただきました。



お知らせコーナー

香川県看護専門学校 臨床看護学科20回生

5年ぶりの開催となり担任を含め18人が参加しました。卒業して38年になりましたが、還暦とは思えないくらい元気いっぱいの会となりました。20歳の頃に戻れる同級生はありがたいなと実感しました。

令和元年度から始まりました同窓会によるクラス同窓会開催助成金について、初年度は4か所で同窓会が行われる予定です。第1号の様子を紹介します。

平成30年度収支決算

令和元年度収支予算案

収入の部			
	30年度予算額	30年度決算額	内訳
会費収入	1,920,000	1,943,000	新入会員 82 名
雑収入	500	22	受取利子
繰入金	1,708,854	1,708,854	
その他	0	207,153	定額貯金（ゆうちょ銀行）満期による利子
合計	3,629,354	3,859,029	
支出の部			
会議費	150,000	110,400	
(1) 総会	0	0	
会場代	0	0	
講演費	0	0	
雑費	0	0	
(2) 役員会	150,000	110,400	役員・評議員会 3 回
旅費	60,000	48,000	
軽食代	90,000	62,400	
事業費	1,350,000	1,344,169	
(1) 会報誌発刊	400,000	394,169	
(2) 同窓会名簿作成	950,000	950,000	
(3) 記念品作製	0	0	
事務費	340,000	16,091	
(1) 通信費	300,000	11,983	監査報告書依頼、現金書留郵送代を含む
(2) 消耗品	20,000	108	領収書
(3) 雑費	20,000	4,000	入学式アルバイト代
入学式	7,000	1,000	
(1) 旅費	7,000	1,000	
卒業式	307,000	193,627	
(1) 旅費	7,000	1,000	
(2) 記念品・花束	300,000	192,627	
大学支援金	1,371,000	1,153,586	(大学支援金内訳)
その他	0	80,000	オープンキャンパス: 130,945円 図書館の資料購入: 499,668円 同窓会の大学祭参加費: 192,699円 臨床検査学科卒業生交流会: 17,946円 集団討議研修会: 11,000円 保健師研修会: 19,799円 退職教員花束: 12,000円 助産師交流会: 183,648円 (その他) 国際交流: 卒業生進路動向郵送調査: 同窓会退会(4名)返金: 85,881円 80,000円
支出小計	3,525,000	2,898,873	
次年度繰越金	104,354	960,156	
支出合計	3,629,354	3,859,029	
積立金			
ゆうちょ銀行	6,000,000		
百十四銀行	4,004,882		

収入の部			
	元年度予算額	30年度決算額	内訳
会費収入	1,473,000	1,943,000	新入会員 62 名
雑収入	500	22	利子等
繰越金	960,156	1,708,854	
積立金からの移動	1,000,000	0	
その他	0	207,153	
合計	3,433,656	3,859,029	
支出の部			
会議費	260,000	110,400	
(1) 総会	160,000	0	
会場代	10,000	0	
講演費	100,000	0	
軽食代	30,000	0	
雑費	20,000	0	
(2) 役員会	100,000	110,400	役員・評議員会 2 回
旅費	40,000	48,000	
軽食代	60,000	62,400	延べ 40 名
事業費	420,000	1,344,169	
(1) 会報誌発刊	420,000	394,169	
(2) 同窓会名簿作成	0	950,000	
(3) 記念品作製	0	0	
事務費	340,000	16,091	
(1) 通信費	300,000	11,983	総会案内発送代を含む
(2) 消耗品	20,000	108	
(3) 雑費	20,000	4,000	
入学式	7,000	1,000	
(1) 旅費	7,000	1,000	
卒業式	307,000	193,627	
(1) 旅費	7,000	1,000	
(2) 記念品・花束	300,000	192,627	
大学支援金	1,100,000	1,153,586	(大学支援金内訳)
その他	907,200	80,000	オープンキャンパス: 125,000円 同窓会の大学祭参加費: 240,000円 保健師交流会: 25,000円 助産師交流会: 50,000円 国際交流: 380,000円 図書館の資料購入: 250,000円 臨床検査学科卒業生交流会: 30,000円 (その他) アカデミックガウン購入: 907,200円
支出小計	3,341,200	2,898,873	
次年度繰越金	92,456	960,156	
支出合計	3,433,656	3,859,029	
積立金			
ゆうちょ銀行	6,000,000		
百十四銀行	3,004,882		

令和元年度事業計画

香川県立保健医療大学同窓会事業計画

1. 組織に関する事項

- 1) 会員増加対策
(1) 在校生未加入者への働きかけ
(2) 新入生に対する入会推奨
- 2) 総会
- 3) 役員・評議員会(年 2 回の開催)
- 4) 支部づくり、役員・評議員会構成の再構築による会員相互のつながりの強化

2. 同窓会活動に関する事項

- 1) 会報誌「大樹」発刊(16号)
- 2) 大学祭での出席
- 3) 香川県立保健医療大学ホームページにおける同窓会コーナーの充実

3. 在校生に関する事業

- 1) 大学委員会への支援(事業担当者から企画書提出)
(1) 大学図書館への専門図書の購入支援
- 2) 大学行事への支援(事業担当者から企画書提出)
(1) オープンキャンパス(継続)
(2) 国際交流(継続)
(3) 保健師研修会(継続)・助産師交流会(継続)・臨床検査技師交流会(継続)
- 3) 入学式、卒業式・終了式
(1) 卒業生・修了生への花束贈呈
(2) 学生会員の卒業・修了生への記念品贈呈
(3) 学生会員への入会記念品の配布(トートバックまたはマグカップ)
(4) 卒業式用アカデミックガウン購入(今年度のみ)

香川県立保健医療大学
同窓会通常会員入会状況

(令和元年 5 月 9 日現在)

歴代学校名	人数(人)
香川県衛生検査技師養成所	156
香川県臨床検査専門学校	348
香川県看護専門学校臨床看護学科	1,188
香川県看護専門学校公衆衛生看護助産学科	457
計	2,149
香川県立医療短期大学臨床検査学科	69
香川県立医療短期大学看護学科	67
香川県立医療短期大学専攻科	31
計	167
香川県立保健医療大学臨床検査学科	209
香川県立保健医療大学看護学科	657
香川県立保健医療大学助産学専攻科 ※	16
香川県立保健医療大学大学院 ※	3
計	885
臨床検査学科在学生(うち平成31年度新入会員)	66(15)
看護学科在学生(うち平成31年度新入会員)	197(41)
助産学専攻科(うち平成31年度新入会員) ※	3(3)
大学院(うち平成31年度新入会員) ※	8(3)
計	274
合計	3,475

※助産学専攻科生および大学院生のうち本学の卒業生です
同窓会に加入しているものは除く

国家試験合格状況・進路状況

多くの学生が県内の医療機関や施設に就職しました。

平成30年度	種 別		看護師	保健師	助産師	臨床検査技師
	受験者数		65 人	18 人	10 人	20 人
	合格者数		63 人	16 人	10 人	19 人
	合格率	本 学	96.9%	88.9%	100.0%	95.0%
全国平均		94.7%	88.1%	99.9%	86.5%	

※合格率の全国平均は、新卒者のみの全国平均です。

住所変更は、小野高速印刷(株)までご連絡下さい!!

TEL 0120-73-7288 FAX 0120-81-2299
E-mail:meibo@dousou.info